

マタイ 20

# 主の平安は どこにある？

マタイ福音書8章14～26節    メシアの奇跡③    嵐の湖で

[Shikaoichurch.com](http://Shikaoichurch.com)

# アウトライン

## 0. イントロダクション

I. カペナウムでの癒やし 8:14～17

II. 召しへの拒絶 8:18～22

III. 嵐の湖で 8:23～26

## IV. まとめと適用

主の平安はどこにある？





## 0. イントロダクション

ローマの街道

【無垢の時代】  
天地創造

【良心の時代】  
墮罪  
~大洪水

【人類統治の時代】  
バベルの塔事件

【約束の時代】  
アブラハム  
~ヤコブ

【律法の時代】  
出エジプト  
~王国時代  
~メシア初臨

【恵みの時代】  
聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

【御国の時代】  
千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダムの契約

③ノアの契約

④アブラハムの契約

⑤モーセの契約

⑥土地の契約

⑦ダビデの契約

⑧新しい契約

メシアの公生涯は、  
律法時代の最後

過去

現在

未来

# メシアの生涯

宣教

→ 拒絶

→ 弟子訓練

→ 十字架へ

メシアによる  
メシアの証明

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ

メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐



## 5～7章 山上の説教の結論

### ■ マタイ福音書4:17

この時からイエスは宣教を開始し、

「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」と言われた。

➔ イスラエルのメシアとして、ガリラヤで宣教を開始。

### ■ ガリラヤでのメシアの宣教

① 教えによるメシアの証明(5～7章)

② 奇跡によるメシアの証明(8～9章)

# ガリラヤ湖

## ■ 地形的特徴

- ・ イスラエルの水がめ
- ・ 海拔マイナス200m  
すり鉢型の特異な地形  
→ 嵐の日には逆巻く波も

## ■ カペナウム

- ・ 主イエスの**宣教の本拠地**
- ・ **交通の要衝**…「マリス街道」
- ・ **漁業**が主要産業
- ・ ローマの**百人隊**も駐留





## I. カペナウムでの癒やし

マタイ福音書 8 章14～17節

カペナウム再現図



癒やし

## ペテロの姑 マタイ8:14～15

それからイエスはペテロの家に入り、彼の姑\*が熱を出して寝込んでいるのをご覧になった。

イエスは彼女の手に触れられた。すると熱がひき、彼女は起きてイエスをもてなした。

\*ここではパウロの妻の母…ペテロは既婚者

■ 病気の姑の面倒を見ていたペテロ

→ 慈悲深く、忠実な信仰者の理想の姿

※ 姑ナオミに献身的に仕えたルツ

■ メシアをもてなす祝福に預かった姑の信仰



癒やし

悪霊の追い出し・癒やし 8:16

夕方になると、人々は悪霊\*につかれた人を、大勢みもとに連れて来た。イエスはことばをもって\*悪霊どもを追い出し、病気の人々をみな癒やされた\*。

\*悪霊の活動は、メシアの公生涯に集中  
…使徒時代の記述はエペソのみ(使19:12)

\*メシアの言葉には神の権威がある

→悪霊も従わざるを得ない

\*この時点でのメシアの癒やしは無条件

全イスラエルに、メシアの到来が、しるしを伴って告げられた



癒やし

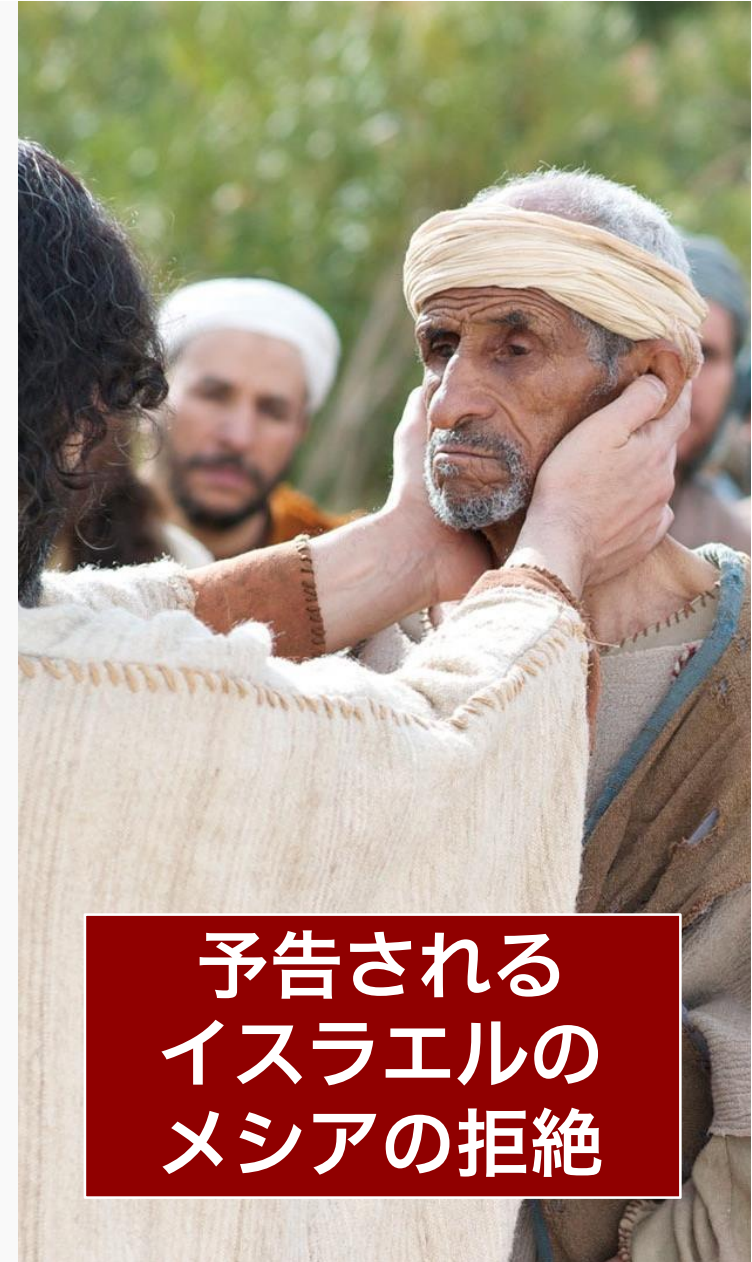
## 預言の成就 マタイ8:17

これは、預言者イザヤを通して語られたことが成就するためであった。「彼は私たちのわずらいを担い、私たちの病を負った。」

### ■イザヤ書53:4 受難のメシア預言

「まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みを担った。それなのに、私たちは思った。神に罰せられ、打たれ、苦しめられたのだと」

→癒やしをもたらされたメシアを、  
イスラエルは拒み、苦しめることに!!



予告される  
イスラエルの  
メシアの拒絶



## II. カペナウムでの宣教

マタイ福音書 8 章18～22節

カペナウム

## 宣教 “向こう岸”へ マタイ8:18

さて、イエスは群衆が自分の周りにいる\*のを見て、弟子たちに向こう岸\*に渡るように命じられた。

\*ほとんどは、御利益目当ての烏合の衆

\*向こう岸は、“異邦人の地”

➡“偶像礼拝のけがれた地”

■ イエスへの信頼を試される弟子たち



## 宣教 律法学者 マタイ8:19～20

そこに一人の律法学者が来て言った。「先生。あなたがどこに行かれても、私はついて行きます」

イエスは彼に言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巣があるが、人の子には枕するところもありません\*。」

\*ヤコブは、石を枕元に荒野で寝た(創28章)

…天地をつなぐ梯子の夢 ➡メシアの守り

■イスラエルはメシアに守られて来たが、メシアご自身を守るメシアはいない。

■この律法学者は、メシアについて行かなかった。



## 宣教 一人の弟子 マタイ8:21～22

また、別の一人の弟子がイエスに言った。「主よ。まず行って父を葬る\*ことをお許してください。」ところが、イエスは彼に言われた。「わたしに従って来なさい。死人たちに、彼ら自身の死人たちを葬らせなさい\*」

\*婉曲的表現 → 父親の存命中は従えない

\*同じく婉曲的な返答 → 他者は関係ない

■ 従うべきは、永遠の命をもたらすメシア

信仰の応答は、私自身に問われている





III. 嵐の湖で      マタイ福音書 8 章23～26節

ガリラヤ湖



## 奇跡

## 嵐 マタイ8:23

それからイエスが舟に乗られると、弟子たち\*も従った。

すると見よ。湖は大荒れとなり、舟は大波をかぶった\*。ところがイエスは眠っておられた。

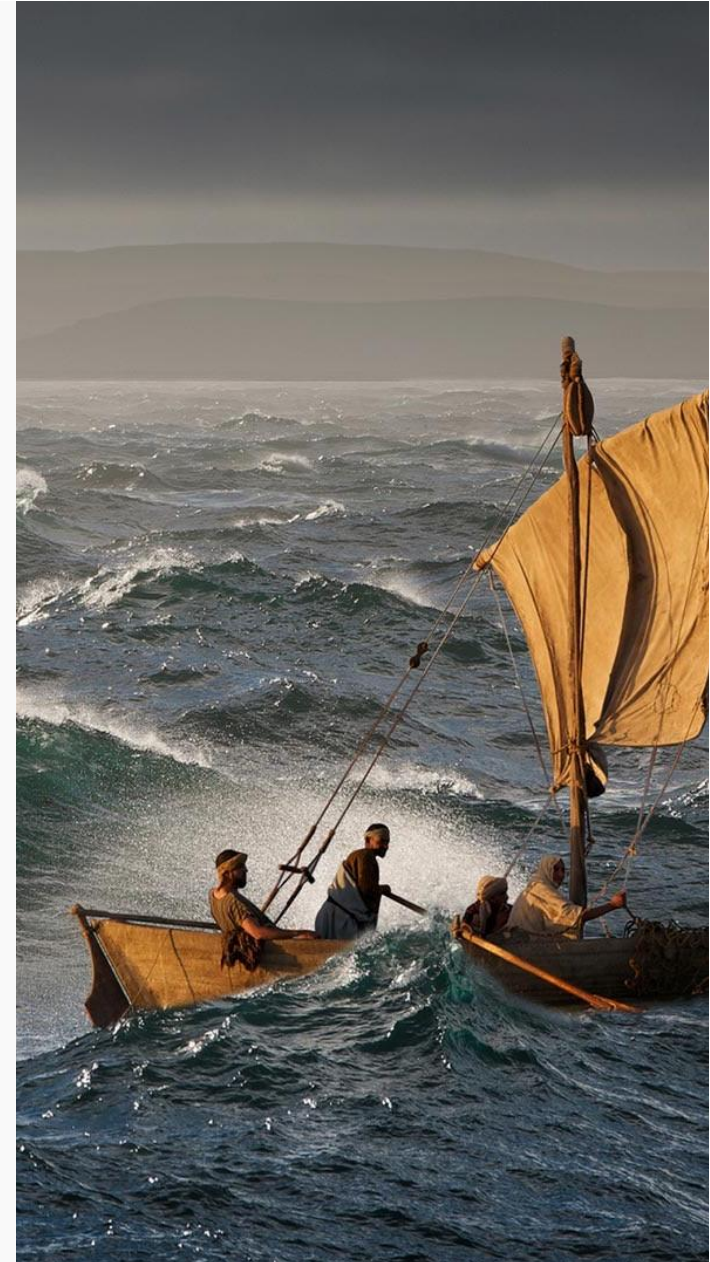
\*メシアに従った、本当の弟子たち

\*地元の漁師ですら恐れるほどの大嵐

地形上、突風が吹くことは珍しくないが…

■主に従って歩み出せば、試練が来る

➡肝心な時に、主イエスは眠っている!!



## 奇跡 おののく弟子たち マタイ8:25

弟子たちは近寄ってイエスを起こして、「主よ、助けてください。私たちは死んでしまいます」と言った。

■ イエスが眠っているなら大丈夫と理解すべきだった弟子たち

➔ メシアは平安なのに、  
恐怖に飲み込まれてしまった



## 奇跡 メシアの叱責 マタイ8:26

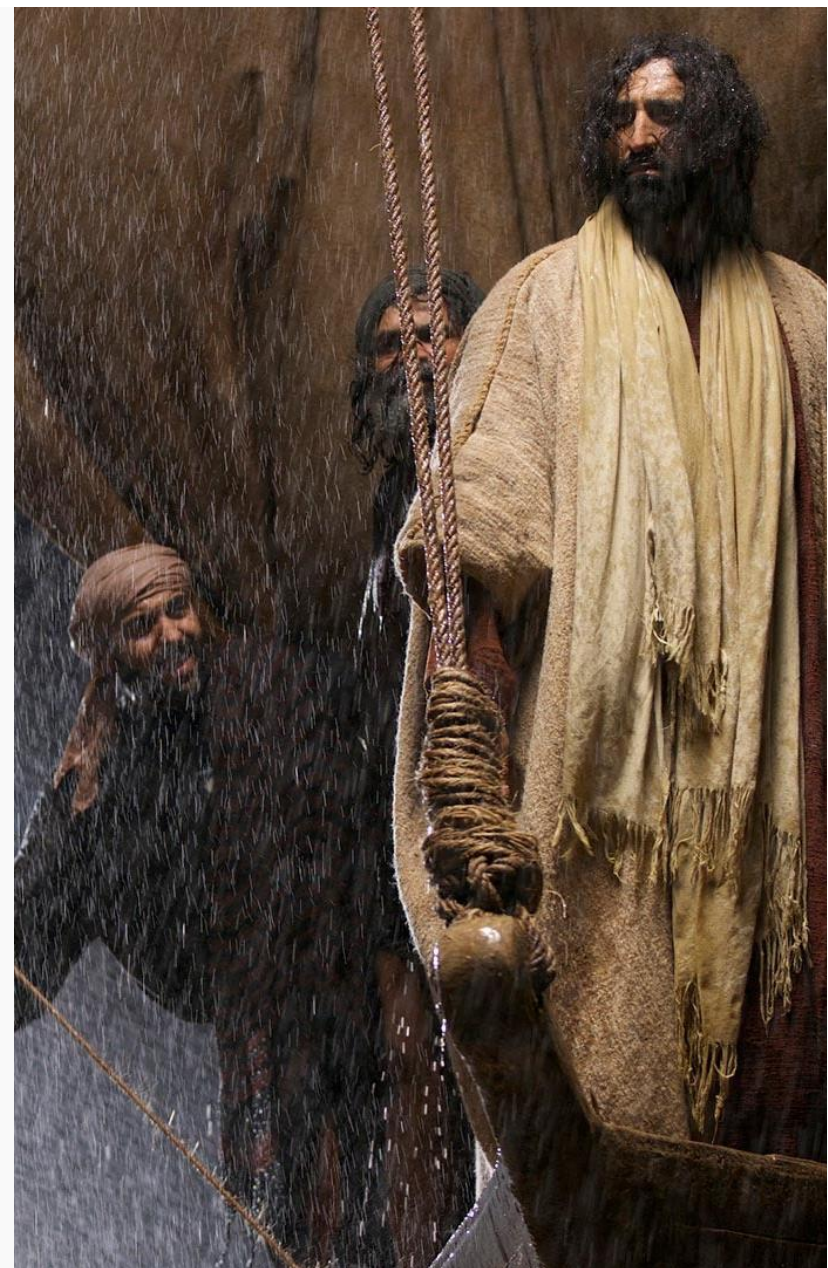
イエスは言われた。「どうして怖がるのか、信仰の薄い者たち。」それから起き上がり、風と湖を叱りつけられた\*。すると、すっかり凧になった。

\*「黙れ、静まれ」(マルコ4:39)

■ 恐怖に捕らわれ、

メシアを信頼しきれなかった。

➔ 弟子たちの不信仰



## 奇跡

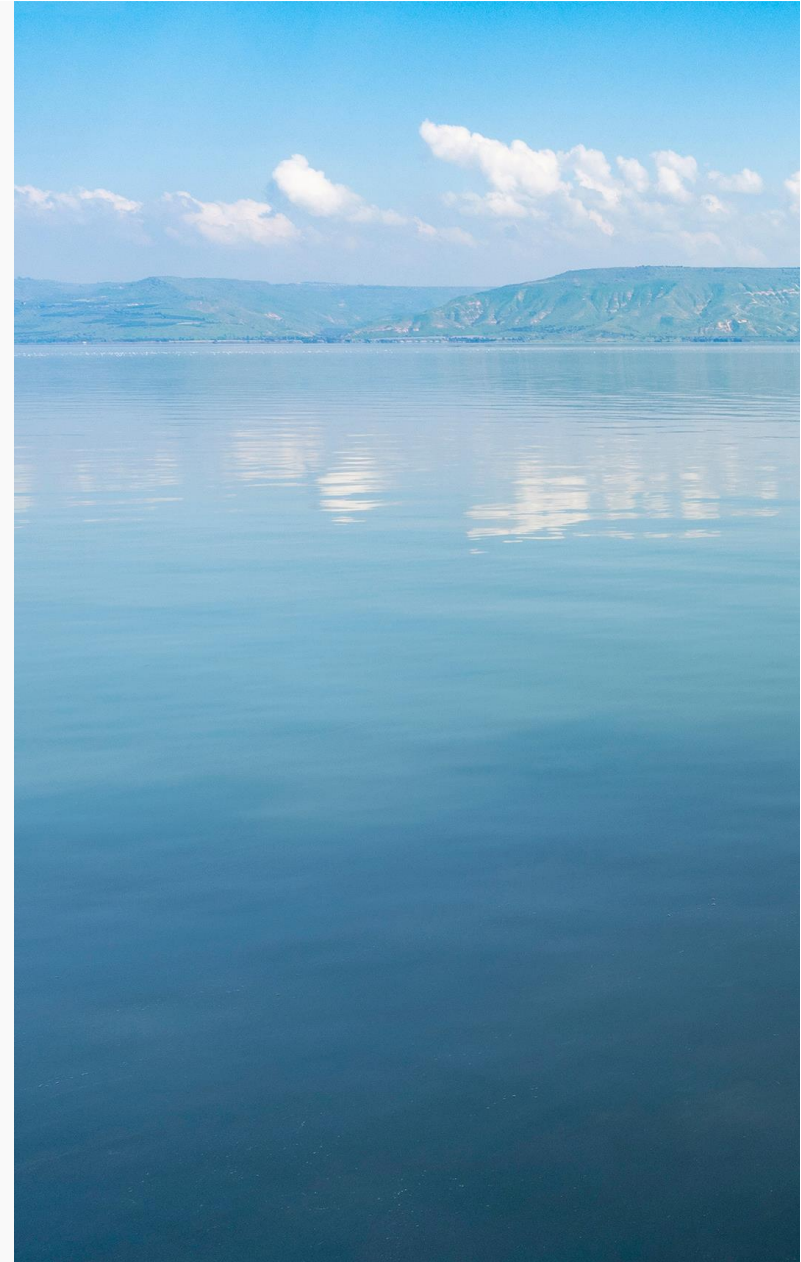
## 人々の驚き マタイ8:27

人々は驚いて言った\*。「風や湖までが言うことを聞く\*とは、いったいこの方はどういう方なのだろうか。」

\*アオリスト・強調… marveled, amazed  
“驚愕して、仰天して”

\*神に祈り願ったのではなく、直接、叱責!!

風や湖までも  
言い聞かせられる方とは？





### III. まとめと適用

主の平安はどこにある？

ガリラヤ湖

## 人々の応答を促すメシア

### ■ 主イエスによるメシアの証明

- ① 権威ある教え … 律法の正しい解き明かし
- ② 奇跡・しるし … 驚愕の奇跡、おびただしい癒やし

### ■ イスラエルには、メシアへの応答が求められたが…

教えを聞いた者も、癒やされた者も多くても、従う者は少数。

→ 数少ない例が、癒やされ、メシアをもてなしたペテロの姑。

**驚くべき癒やしも、信仰に直結しない人々の現実が!!**

## 海にまつわる神の奇跡

- ①ヨナ書** …神に怒りによる嵐。海に投げ込まれて静まった。  
三日三晩、魚の腹の中に。(2章)
- ②出エジプト記** …主が海を分け、イスラエルを救った。(15章)
- ③創世記** …主が大洪水で世界を裁き、  
箱船に乗ったノアの家族8人が救われた。(7～8章)



## 海の奇跡とメシア

- ①ヨナ …三日三晩、魚の腹の中に。  
→メシアは、十字架で死なれ、**三日目に復活**
- ②出エジプト …主が海を分け、イスラエルを救った。  
→民を導いた**雲の柱**は、**メシアの栄光**
- ③創世記 …箱船に乗ったノアの家族8人が救われた。  
→**箱船**が示すのは、**メシアによる救い**

**海の奇跡の背後にメシアが!!**





## 風と湖を叱責したメシアの権威

「あなたが**風**を吹かせられると、**海**は彼らをおおい、  
彼らは鉛のように、大いなる水の中に沈んだ。出エジプト 15:10」

- **風、海**を支配されるのは、創造主なる唯一の神、主。
- イエスは、**風と湖**を叱責し、静められた。
  - ➔ イエスは、神の権威を帯びたメシアである

**イエスは、約束されたメシアであり、世界を支配される神である**

## 浮き彫りになる、メシアと人々との隔たり

- イスラエルの人々は、癒やしは求めても、応答する者は少数。
- 風と湖を静めたメシアの権威に、弟子たちは驚愕したが、メシアとは何者か、まだ分かっていない。
- 嵐の出来事は、マルコ、ルカでは、ベルゼブル論争の後に記述。マタイは、宣教の初期から乖離が生じていたことを示唆。
  - ➔ 17節で、預言の成就として引用されたイザヤ書53章は、**「受難のメシア預言」**

## メシアの受難をも預言していたイザヤ

### ■ イザヤ書53:2～5

彼には見るべき姿も輝きもなく、私たちが慕うような見栄えもない。彼は蔑まれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で、病を知っていた。人が顔を背けるほど蔑まれ、私たちも彼を尊ばなかった。

まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みを担った。それなのに、私たちは思った。神に罰せられ、打たれ、苦しめられたのだと。

しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。

**メシアの宣教は、十字架へと向かっていく**

## ★ 主の平安はどこにある？ ★

■ 神の権威のしるしを示されたメシアだが、人々は理解しない。奇跡を体験しても信じない。疑いのかたまりが罪ある私たちだ。

■ 人生の苦難の中で、容易に主を見失い、孤独に落ち込む私たち。しかし、主は約束どおり、いつも共にいてくださる。

■ 主に従い、踏み出せば、嵐も試練もやってくる。主を求め、主に寄りすがろう。御言葉と祈りを欠かさずに。

**私自身に、平安はない。主ご自身が私の平安だ。**

「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。  
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたことを、信じます。

主は、愛する子を訓練されます。信仰者ゆえの試練があります。

人生の嵐の中で、主イエスの平安が私の平安となりますように。

日々、御言葉を口ずさみ、主を慕い求めます。

主にある平安の内に、主イエスの弟子として、私を遣わしてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」